



令和3年11月2日
港湾局技術企画課

漂流軽石の回収による港湾機能の確保に向けて ～漂流軽石回収技術検討ワーキンググループを設置します。～

国土交通省港湾局では、海底火山の噴火に伴う漂流軽石の効果的な回収技術を検討するため、「漂流軽石回収技術検討ワーキンググループ」を設置し、11月5日(金)に第1回ワーキンググループを開催します。

本年8月に発生した海底火山「福德岡ノ場」の噴火により、本年10月末には鹿児島県及び沖縄県の複数の港湾において軽石の漂流・漂着が確認され、フェリー航路の運休等、港湾利用への支障も発生したところです。

海流等の状況によっては、今後、本州や四国などの港湾に軽石が漂流・漂着することも想定されることから、現在、沖縄県内の港湾において国が実施している軽石回収技術の実証結果等を踏まえつつ、軽石が漂着した際に対処可能な技術を早急に取りまとめ、港湾管理者等の関係者に広く周知する必要があります。

このため、今般、「漂流軽石回収技術検討ワーキンググループ」を設置し、関係団体、行政・研究機関の参画を得て、まずはこれまでの技術実証等によって得られた知見に基づく漂流軽石の効果的な回収技術について11月中を目途としてとりまとめるべく検討に着手します。

記

日時：令和3年11月5日(金) 15:00～16:30

場所：国土交通省(中央合同庁舎3号館)10階 港湾局会議室 (オンライン併用)

議事内容：沖縄県及び鹿児島県の港湾等における軽石漂流・漂着による被害状況の把握

軽石回収に係る技術実証の状況等の情報共有

漂流軽石の効果的な回収技術の検討

WG 構成員：別紙の通り

(取材等)

- 本検討会は非公開ですが、検討会冒頭のカメラ撮りは可能です。カメラ撮りを希望される方は、当日14:45までに直接開催場所までお越し下さい。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、マスクをご着用頂くとともに、各社原則1名でお願いいたします。また、風邪のような症状がある場合には、参加をお控え願います。
- 会議資料及び議事概要は、後日、国土交通省ホームページにて公開する予定です。

【問い合わせ先】

港湾局技術企画課 馬場、野呂、田中

TEL:03-5253-8111(内線:46502、46522、46541)、03-5253-8905(直通)

FAX:03-5253-1652

【別紙】

漂流軽石回収技術検討ワーキンググループ構成員名簿

(順不同・敬称略)

<関係団体>

福田 功	一般社団法人 日本埋立浚渫協会 副会長兼専務理事
津田 修一	日本港湾空港建設協会連合会 専務理事
野澤 良一	一般社団法人 日本海上起重技術協会 専務理事
桐原 弘幸	全国浚渫業協会 業務運営委員会 委員長
加藤 英夫	一般社団法人 日本作業船協会 専務理事
佐川 克豊	全国ポンプ・圧送船協会 副会長
牧野 稔智	一般社団法人 全日本漁港建設協会 事務局長

<行政>

遠藤 仁彦	国土交通省 大臣官房 技術参事官
杉中 洋一	国土交通省 港湾局 技術企画課長
中原 正顕	国土交通省 港湾局 海洋・環境課長
西村 拓	国土交通省 港湾局 海岸・防災課長
松良 精三	国土交通省 九州地方整備局 副局長
坂井 功	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部長
横山 純	水産庁 漁港漁場整備部 整備課長
中村 隆	水産庁 漁港漁場整備部 防災漁村課 水産施設災害対策室長

<研究所>

森木 亮	国土交通省 国土技術政策総合研究所 沿岸海岸・防災研究部長
吉江 宗生	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 特別研究主幹